

立食

皆さんは立食と聞くと、どんなイメージを持っていますか？日本で暮らす私たちにはあまりイメージが湧きませんが、海外において立食は、フォーマルな場でも採用される立派なパーティースタイルの1つなのです。そのため立食には、立食独自のテーブルマナーが存在しています。

立食とは



立食とは宴会の出席者が立ったまま、自由にテーブルに並んだ料理を食べたり、ドリンクを飲んだりするパーティーのスタイルです。立食スタイルのパーティーは、カジュアルなものが多いですが、先ほど紹介した通り公式の宴会でも用いられることがあります。

立食の種類

一口に立食と言っても、そのスタイルはさまざまです。ここでは通常催される、メジャーな立食について紹介します。

立食の種類1・ドリンク主体の立食

立食の中でも、ドリンクがメインとなるものがこのタイプに含まれます。料理は全くないわけではなく、基本的にナイフ・フォークや皿を使わなくても済むような料理（サンドイッチ）や、オードブルがメインとなります。このタイプの立食は、夕食前に催されることが多いのが特徴です。

立食の種類2・ドリンク+フードの立食

ドリンクとフードの割合がややフード寄りになっているのが、このタイプの立食です。各種ドリンクに加え、カナッペ・スモークサーモン・ビーフストロガノ

和食-懐石料理

- 懐石料理のマナー-前編
- 懐石料理のマナー-後編

和食-会席料理

- 会席料理のテーブルマナー
- 箸の持ち方
- 和食の食べ方

フランス料理

- 入店から着席まで
- 飲み物のオーダーから店を出るまで
- イギリス式との違い

中華料理

イタリア料理

韓国料理

立食

バイキング

テーブルマナー Q&A

フ・サラダ・デザートのような、一通りの料理を揃えた立食です。寿司や焼き鳥の屋台が出ることもあります。

立食の種類3・フルコースの立食

フルコースの料理を大皿に盛り、お客がそれを楽しむスタイルがこのタイプの立食です。このようなタイプの立食を、ピュッフエスタイルとも言います。お客の飲むドリンクは、高級なものがメインとなります。

立食のテーブルマナー

立食は立派なパーティーの1つなので、かなり細かなテーブルマナーが存在します。立食のテーブルマナーもフランス料理などの場合と同じく、料理を食べる際の約束事が多いと言えます。

立食のテーブルマナー1・会場に入るまで

テーブルマナー以前の問題として、立食の会場には、スタートの15~20分前までには入っておきましょう。会場の入り口には受付がありますが、受付から呼ばれるのを待つだけでなく自分から手続きを済ませるのが、テーブルマナーになります。また会場の入り口には、「ウェルカムドリンク」が用意されていることがあります。ウェルカムドリンクをウェイターから受け取る際には、左手にあらかじめ紙ナプキンを持っておきましょう。そして右手で受け取ったドリンクを、ナプキンを底にして左手に持つのがテーブルマナーです。会場に入ったらまずは、立食の主催者にあいさつをするのも忘れないようにしましょう。

立食のテーブルマナー2・料理について

立食のテーブルマナーで最も気をつける点が多いのが、料理についてのものです。しかし最低でも、以下の事に気を付ければ問題はありません。

- 料理のあるテーブルから料理を取っても、その周りで食べてはいけません。
- 料理を山盛りにはしてはいけません。予期せぬトラブルの原因となります。
- 料理を取る時はサービス用のスプーンを右手に、フォークを左手に持ちましょう。料理をスプーンですくってから、フォークで抑えるのが正しいテーブルマナーです。また料理（皿）をテーブルに一旦置く際には、ナイフ・フォークを漢字の八の字にして、皿の手前側に置くのがテーブルマナーです。ちなみにその際、フォークの上にスプーンを置きましょう。
- もし料理が口に合わない場合は、皿の隅に寄せ集めましょう。

- ナイフ・フォークを落とした場合には、自分で拾わずにその場でウェーターを呼んで拾ってもらいましょう。一見横柄な態度に見えるかもしれませんが、これが正式なテーブルマナーです。
- 食べ物、自分が食べる分だけ皿に取りましょう。気を利かせて他人の分まで持っていくのは、逆にテーブルマナーに反する行為です。
- グラスを持つ時は、自分の胸の辺りに構えましょう。
- 立食出席者が不愉快に感じるような行為（大声で騒ぐなど）や発言（噂話など）は、くれぐれも慎みましょう。

立食のテーブルマナー3・スピーチがある時

立食では出席者の中の何人かが、スピーチをする場合もあります。もうすぐスピーチが始まるなど感じたら、すぐに皿が置けるようテーブルの周りに寄って行き、拍手などの際にいつでも両手が使えるようにしておきましょう。スピーチを聞く際には、料理や飲み物を口の中に入れるのは一旦やめるのが、立食のテーブルマナーです。

立食のテーブルマナー4・帰る時

立食が終わり帰る時には、受付で主催者からお土産を渡される事があります。この際お土産を受け取らないと、たいへん失礼にあたるので素直に受け取りましょう。また名札やバッジを付けていた場合は、それを受付に返すのも忘れないようにしましょう。

結婚式の二次会

私たちが立食に一番接する機会が多いのは、よほどのセレブでもない限りは、結婚式の二次会でしょう。結婚式の二次会は一次会（披露宴）とは違い、だいぶカジュアルなものになります。そのため思わずハメをはずしてしまう出席者が多いのも、結婚式の二次会の特徴です。ハメをはずしたばかりに、せっかくの結婚式が台無しになってしまう事もあります。くれぐれも節度とテーブルマナーを守り、楽しい立食パーティーを心がけましょう。

[→トップページに戻る](#)

Copyright (c) table-manners.org All rights reserved.

